

山 鹿 市 議 会 会 議 録

平成 2 8 年（第 3 回） 7 月臨時会

山 鹿 市 議 会

平成28年（第3回）山鹿市議会7月臨時会

目 次

第1号（7月4日）	頁
1. 議事日程	3
2. 本日の会議に付した事件	3
3. 出席議員	3
4. 欠席議員	4
5. 説明のため出席した者	4
6. 事務局職員出席者	4
7. 日程第1 会議録署名議員の指名	5
8. 日程第2 会期の決定	5
9. 日程第3 意見書案第3号～意見書第4号	5
10. 提案理由の説明	5
(1) 意見書案第3号（職員朗読）	5
(2) 意見書案第4号（職員朗読）	7
11. 質 疑	9
12. 討 論	9
13. 採 決	9
14. 閉 会	10

7 月 4 日 (月曜日)

平成28年（第3回）山鹿市議会7月臨時会会議録

議 事 日 程（第1号）

平成28年7月4日（月曜日）午前10時開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 意見書案第3号 被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

意見書案第4号 平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員（18名）

1番	服	部	香	代	君
2番	富	田	弘	海	君
3番	永	田		健	君
5番	富	丸	洋	一	郎
6番	藤	本	峰	秀	君
7番	北	原	昭	三	君
8番	芹	川	正	美	君
9番	藤	原		豊	君
10番	平	井	邦	廣	君
11番	吉	本	政	幸	君
12番	池	田	誠	一	君
13番	堀		茂	幸	君
14番	永	田	紘	二	君
15番	横	手	啓	介	君
16番	藤	原		弘	君
18番	丸	山	寛	治	君
19番	寺	崎	勇	児	君
20番	丸	山	康	昭	君

欠席議員（１名）

4 番 稲 葉 昇 君

○

説明のため出席した者

市	長	中	嶋	憲	正	君
副	市	池	田	永	実	君
教	育	堀	田	浩	一	郎
総	務	幸	村	英	星	君

○

事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長	野	田	修	誠	君
局長補佐兼議事係長	小	山		天	君
書	高	木	善	彦	君

○

午前10時00分 開議

○
○議長（藤原 弘君）

ただいまから、平成28年（第3回）山鹿市議会7月臨時会を開会いたします。
直ちに、本日の会議を開きます。

○
日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（藤原 弘君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、寺崎 勇児君、
丸山 寛治君を指名いたします。

○
日程第2 会期の決定

○議長（藤原 弘君）

日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。
これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 弘君）

ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

○
日程第3 意見書案第3号 被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

意見書案第4号 平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書

○議長（藤原 弘君）

日程第3、意見書案第3号及び意見書案第4号を一括議題といたします。
意見書案2件について、職員に朗読させます。

〔職員朗読〕

意見書案第3号
平成28年7月4日提出

被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

地方自治法第99条の規定による意見書を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

提出者

山鹿市議会議員 池 田 誠 一

賛成者

山鹿市議会議員 永 田 健

山鹿市議会議員 寺 崎 勇 児

山鹿市議会議員 横 手 啓 介

山鹿市議会議員 藤 原 豊

山鹿市議会議員 藤 本 峰 秀

山鹿市議会議長 藤 原 弘 様

被災者生活再建支援法は、都道府県が相互扶助の観点から拠出した基金を活用して、自然災害により居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、生活の再建を支援するための被災者生活再建支援金を支給し、住民の生活の安定と被災地の速やかな復興に資することを目的としている。

今回の熊本地震は、最大震度7の激震が2度発生し、震度6あるいは5クラスの揺れを含む震度1以上の余震が1700回以上発生するなど、これまで経験したことのない地震であり、全壊世帯、大規模半壊世帯に加え、引き続く余震に長期にわたる避難を余儀なくされている世帯も多数に及ぶなど、その被害も深刻な様相を呈している。

被災した住民の生活再建のためには、特に、住宅再建に対する手厚い支援が求められており、国によるさらなる支援及び制度の拡充が必要である。よって、住民の生活安定と早期復興のため、下記の事項について措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 全額国庫による被災者生活再建支援制度に係る特例基金を創設すること。
- 2 被災者生活再建支援金について、生活再建と住宅再建を合わせた現行の最大300万円の支給額を引き上げること。
- 3 支給対象となる世帯の範囲については、被災した世帯の実情に応じた柔軟な対応を可能とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年7月4日

熊本県山鹿市議会

衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 山崎 正昭 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
財務大臣 麻生 太郎 様
内閣府特命担当大臣（防災担当） 河野 太郎 様

意見書案第4号

平成28年7月4日提出

平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書

地方自治法第99条の規定による意見書を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

提出者

山鹿市議会議員 池 田 誠 一

賛成者

山鹿市議会議員 永 田 健

山鹿市議会議員 寺 崎 勇 児

山鹿市議会議員 横 手 啓 介

山鹿市議会議員 藤 原 豊

山鹿市議会議員 藤 本 峰 秀

山鹿市議会議長 藤 原 弘 様

平成28年4月14日夜及び16日未明に立て続けに発生し、熊本地方を初め九州中部の各地域に甚大な被害をもたらした「平成28年熊本地震」は、2カ月を経過した今日においてもなお頻発する余震と今後本格化する梅雨の大雨に大きな不安を感じながらも、被災自治体は住民の生活再建と地域社会の復旧・復興に懸命の努力を重ねている。

また、比較的被害が少なかった自治体においても、発生当初から大規模被災地への人的・物的支援はもとより、避難所や車中泊での不便な生活を余儀なくされている被災者

の受け入れ、肉体的・精神的疲労の解消策に、「チームくまもと」として一丸となって取り組んでいる。

このような中、国においては復旧・復興のための補正予算7780億円をスピード可決し、住宅の確保や生活再建支援金の支給のほか、あらかじめ使い道を定めない熊本地震復旧等予備費として、当面の復旧に万全を期すとされている。

しかしながら、本市を初め多くの自治体にとって基幹産業である農業または観光業への影響は深刻で、風評被害も含めた損失は、地域経済の衰退を危惧せざるを得ない。また、日本有数の装飾古墳群を初めとした多くの歴史・文化遺産を保有する本市にとっては、今後見込まれる復旧費が脆弱な財政基盤に追い打ちをかけることが懸念される。

今後、地方自治体が財政面で安心感を持って復旧・復興にしっかりと取り組んでいくためには、国による財政支援の明確な担保と長期的な支援が必要である。

よって、国におかれては、新たな補助制度の創設や補助率のかさ上げなどの財政措置及び地方負担分を極小化するための特別交付税の別枠措置など、東日本大震災を踏まえた財政負担等に係る特別な立法措置を講じられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年 7 月 4 日

熊本県山鹿市議会

衆 議 院 議 長 大 島 理 森 様
参 議 院 議 長 山 崎 正 昭 様
内 閣 総 理 大 臣 安 倍 晋 三 様
財 務 大 臣 麻 生 太 郎 様
総 務 大 臣 高 市 早 苗 様

○議長（藤原 弘君）

意見書案第3号及び意見書案第4号について、提案理由の説明があれば発言を求めます。提出者、池田 誠一君、ありませんか。

○12番（池田 誠一君）

ありません。

○議長（藤原 弘君）

この際、議案審査のため、暫時休憩いたします。

午前10時09分 休憩

○

午前10時18分 開議

○議長（藤原 弘君）

休憩前に引き続き、会議を開きます。

これより、ただいま議題となっております案件について、質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 弘君）

質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております2案件については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 弘君）

ご異議なしと認めます。

よって、委員会付託は省略することに決しました。

これより、討論を行います。討論はありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 弘君）

討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、採決を行います。

意見書案第3号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 弘君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、意見書案第4号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 弘君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

○

閉 会

○議長（藤原 弘君）

これもちまして、本議会に付議されました案件の審議は、全部終了いたしました。よって、平成28年（第3回）山鹿市議会7月臨時会を閉会いたします。

午前10時19分 閉会

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

山鹿市議会議長 藤 原 弘

山鹿市議会議員 寺 崎 勇 児

山鹿市議会議員 丸 山 寛 治